

## 1. 基本情報

- (1) 国名：ベトナム社会主義共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ハイフォン市
- (3) 案件名：ハイフォン幹線道路整備事業  
(Hai Phong Arterial Road Construction Project)
- (4) 事業の要約：ベトナム北部のハイフォン市において橋梁及び環状道路を整備することにより、交通の円滑化を図るもの。

## 2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における運輸・道路セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置づけ  
ベトナムの国内交通における道路への依存度は高く、2011 年時点で貨物輸送の 74.3%、旅客輸送の 92.1%を占めており、経済成長に伴い道路交通量は増加し続けている。かかる状況に対し、ベトナム政府は、「第 9 次社会経済開発 5 カ年計画（2011-2015）」において、高成長下での持続的発展という開発目標の達成に向け、運輸交通インフラの整備を含むインフラシステムの更なる発展を開発上の最重要課題と位置づけている。なかでもベトナム政府は、2017 年に稼働予定のベトナム北部唯一の国際大水深港であるラックフェン港を有するハイフォン市を北部の成長軸として優先的に開発していく方針を打ち出しており、2014 年 3 月のサン国家主席来日時に採択された日越共同声明においても、ハイフォン市の開発支援が日本に要請されている。

2005 年から 2011 年にかけての GDP 成長率が年平均 11.3%と著しく、年平均 10% 程度の人口増加率を維持しているハイフォン市は、都市開発マスターplanに基づき、市内を横断するカム河南岸の既存市街地の開発のみならず、カム河北岸の新市街地及び工業団地の開発を現在進めている。他方、これら開発に伴う所得向上と人口増加による自動車の増加及びラックフェン港の稼働に伴う工業団地から港湾に至る市内通過交通の増加により、交通渋滞が深刻化することが危惧されており、カム河を渡河する既存のビン橋及びキエン橋の 2 橋のみでは、増加し続ける交通需要を満たせなくなる見込みである。かかる状況に対応するため、市街地を迂回する交通路としての環状道路及びカム河を渡河する新たな橋梁の整備が喫緊の課題となっている。

本事業は、近年開発が進むハイフォン市において橋梁及び環状道路を建設することにより交通の円滑化を図り、もってベトナム北部地域の経済成長促進及び国際競争力強化に寄与するもの。

(2) 運輸・道路セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置づけ  
2012 年 12 月に策定された対ベトナム国別援助方針では、「成長と競争力強化」を重点分野に掲げており、「経済成長に伴い増大している経済インフラ需要に対応するため、幹線交通及び都市交通網の整備」に係る支援に重点的に取り組むとしている。こうした方針に基づき、我が国はこれまで、ハイフォン市をベトナム北部の物流拠点として、その周辺の交通インフラ整備を支援しており、国道 5 号線や国道 10 号線の

改良事業、BIN橋建設事業等を実施してきた。本事業は、我が国及び JICA の援助方針に合致する。

### (3) 他の援助機関の対応

- 1) 世界銀行：国道や地方道路の整備、内陸水運、都市交通のインフラ整備分野の支援実施中。ハイフォンにおいては、ハイフォン都市交通改善プロジェクトを実施中。
- 2) アジア開発銀行：大メコン圏経済協力プログラムとして都市間交通インフラに支援実施中。ハイフォンにおいて実施中の運輸プロジェクトはない。

### (4) 本事業を実施する意義

本事業は我が国、JICA の援助重点分野と合致しており、またベトナム政府の政策においても交通・物流効率化の重要性が指摘されていることから、JICA が本事業の実施を支援する必要性及び妥当性は高い。

## 3. 事業概要

### (1) 事業概要

#### ① 事業の目的

ベトナム北部のハイフォン市においてグエンチャイ橋、ブーイエン橋の2橋梁及び第3環状道路の一部を整備することにより、増加する交通需要への対応、交通・物流の効率化を図り、もってハイフォン市を含むベトナム北部地域の経済成長促進・国際競争力強化に寄与するもの。具体的には、カム河以北からラックフェン港及び旧市街地への移動時間の短縮等を目指す。

#### ② 事業内容

- 1) グエンチャイ橋(片側2車線、橋梁、アプローチ道路)の建設
- 2) ブーイエン橋(片側2車線、橋梁、アプローチ道路)の建設
- 3) 第3環状道路(片側2車線)の建設
- 4) コンサルティング・サービス(入札補助、施工監理等)

#### ③ 他の JICA 事業との連携

本事業は、円借款により整備中のラックフェン港と接続され、既存事業の効果促進にも資する。

### (2) 事業実施体制

- ① 借入人：ベトナム社会主義共和国政府 (The Government of the Socialist Republic of Viet Nam)
- ② 事業実施機関／実施体制：ハイフォン市 交通運輸局(Communication and Transport Department of Hai Phong City)
- ③ 他機関との連携・役割分担：特になし。
- ④ 運営／維持管理体制：ハイフォン市 交通運輸局(Communication and Transport Department of Hai Phong City)

### (3) 環境社会配慮

- ① カテゴリ分類 ■A □B □C □FI
- ② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2010年4月公布)に掲げる道路・橋梁セクター及び影響を及ぼしやすい特性に該当するため。

#### (4) 横断的事項

本事業は交通の円滑化を図るもので、温室効果ガス(GHG)の排出削減に貢献する。詳細は調査にて確認する。

#### (5) その他特記事項

本事業では、本邦技術として長大斜張橋の設計・施工技術の適用を検討する予定。

#### 4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

ベトナム「国道18号線改良事業」の事後評価等では、トラックの過積載が道路の劣化原因となっており、効率的な物流を妨げないような形でのチェックポイントの設置などの対策が重要であるとの教訓を得ている。本事業においては、トラックの過積載による舗装の劣化の対策として、チェックポイントの設置等を検討するとともに、流動性が低く轍が出来にくい舗装を採用するなどの技術的な対策を検討する。

以 上

[別添資料] 地図

## ハイフォン幹線道路整備事業：地図

